

平成 31 年度

災害公営住宅コミュニティサポート事業

実績報告書

公益財団法人 共生地域創造財団

目 次

1. はじめに	1
2. 活動目標値に対する実績	2
2-1. 訪問活動	2
2-2. コミュニティ相談支援	3
2-3. 交流機会創出活動	4
2-4. ケースカンファレンス	5
2-5. データベース化	6
2-6. 他支援機関との連携会議	6
2-7. 研修実績	8
3. 総括および次年度への展望	10

1. はじめに

当財団は平成 23 年 3 月 11 日に発災した東日本大震災を機に被災者支援の活動を開始しました。昨年度は大船渡市より災害公営住宅コミュニティサポート事業を受託し、災害公営住宅入居者間の支え合いの醸成と関係機関・周辺地域と連携しながらコミュニティ形成のための支援を行ってきました。

大船渡市内には災害公営住宅は 25 か所あり、其々の団地の規模や地域の特性に応じた住民組織である自治会の形成支援、住民同士のつながりづくりの支援、イベント等のマッチングを行いながら自立した自治会運営や住民同士の支え合いの推進を図り住民活動や地域交流の活性化に取り組みました。

しかしながら、自治会運営は住民の高齢化、自治会役員の担い手不足等が課題になっています。そんな中さまざまな課題を抱え役員の疲弊感や役員同士の連携不足が顕著になっています。

住民同士のつながりは近隣住民がまとまって入居している災害公営住宅については比較的交流はあるもの、広範囲からの入居者が多い団地のつながりは希薄で団地に併設されている集会所がうまく利用されていない、自治会が主催するイベントへの住民参加が固定されており全体的には参加が少ない状況です。

自治会運営については関係機関と連携しながら役員が主体となって課題解決への改善策を見いだせるよう自治会、関係機関と情報共有や意見交換をおこない其々の団地に応じたサポートを行いました。

時間の経過とともに災害公営住宅の入居者は高齢化や単身世帯が増加しています。住民同士のつながりは安全で安心して暮らしていくためにも重要であると考え、周辺地域の公民館や周辺の住民との交流機会（共同作業、イベント、お茶会）を設けて交流を図りましたが十分浸透しているとは言えない状況です。

団地内においてドアの外に出ないと出会えない、顔が見えないと親近感や人となりを知り得ない。来期はそういう事を踏まえて一歩踏み出せる機会創出と一歩踏み出した住民が集える団地内の小さなコミュニティづくりを意識して地域資源と協働しながら活動していきたいと思います。被災住民が生活再建後も安心して生活できる地域創造が当財団の使命であると考えています。大船渡市の復興に寄与できるよう、さらに支援の質の向上に努めてまいります。皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

公益財団法人 共生地域創造財団 岩手事務所

2. 活動目標値に対する実績

2-1. 訪問活動

災害公営住宅における入居者間の支え合いの醸成および地元地域との連携していくコミュニティ形成支援を行った。それぞれの団地の規模や地域の特性に応じ、住民組織となる団地会の形成支援、住民同士のつながりづくりの支援、イベントのマッチング等を行いながら、自立的な団地会運営、住民同士の支え合いの推進の支援を実施した。

(単位：件)

団地名	2019年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
上平	2	3	4	5	4	4	3	1	4	4	2	4	40
赤沢	1	1	2	1	0	1	0	1	0	1	1	2	11
上山東	2	1	3	3	1	1	2	4	3	1	1	1	23
田中東	1	2	1	0	1	1	1	0	1	1	2	2	13
川原	9	4	1	4	1	1	2	3	0	1	3	2	31
野々田	4	4	9	8	8	6	6	5	4	3	5	3	65
長谷堂東	2	3	1	1	2	1	1	2	2	4	1	1	21
下欠東	1	1	1	1	0	3	2	1	1	1	2	3	17
関谷	1	1	3	3	1	4	2	1	1	1	3	3	24
平5号棟	1	1	1	1	3	1	1	1	2	2	1	1	16
平南	1	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	15
泊里	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	5
みどり町	2	1	2	1	1	2	1	1	0	1	0	1	13
宇津野沢	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
盛中央	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4
下館下	2	3	2	3	2	2	2	2	1	1	1	1	22
蛸ノ浦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
沢田南	3	2	2	0	1	2	1	1	1	1	0	1	15
後ノ入	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
山口西	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
大洞	1	1	2	2	0	1	1	0	1	1	0	1	11
所通東	0	4	3	4	1	1	3	2	4	1	2	6	31
杉下	1	1	4	0	1	1	1	1	0	1	1	2	14
崎浜	1	1	2	0	0	0	1	0	1	1	0	0	7
清水	1	1	4	1	2	0	1	0	1	2	2	0	15
件数	40	41	50	41	32	35	35	29	35	31	31	38	438

目標値

件数	月	目標件数
30	12	360件

目標値：30件/月×12ヶ月＝360件

達成率

訪問総計	目標件数	達成率
438	360	121.60%

達成率：438/360=121.6%

2-2. コミュニティ相談支援

災害公営住宅の自治会運営は、住民の高齢化、住民の自治会への意識低下が見受けられ、役員の担い手不足が課題になっている。様々な課題を抱える中で、役員の疲弊感、役員同士の連携不足が顕在化する中、役員が主体となって改善策を見出せるような支援を考えながら、各団地に対応した継続したサポートを行った。

(単位：件)

団地名	2019年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
上平	1	0	1	0	2	0	1	1	1	0	0	0	7
赤沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上山東	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
田中東	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4
川原	8	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	10
野々田	1	2	2	6	1	5	3	5	0	0	1	1	27
長谷堂東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下欠東	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
関谷	0	1	2	6	7	5	4	1	1	1	1	2	31
平5号棟	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
平南	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5
泊里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みどり町	0	0	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	6
宇津野沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
盛中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下館下	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
蛸ノ浦	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
沢田南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後ノ入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大洞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所通東	0	2	0	1	0	0	0	1	3	1	0	2	10
杉下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
崎浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清水	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
件数	11	11	8	15	14	15	9	10	5	3	2	5	108

目標値

件数	月	目標件数
30	12	360件

目標値：30件／月×12月＝360件

達成率

訪問総計	目標件数	達成率
108	360	30%

達成率：108／360＝30%

2-3. 交流機会創出活動

災害公営住宅内の住民同士のつながりは入居時は無いに等しい状況からスタートしている。時間の経過とともに高齢化率、単身世帯率が増加していて課題も複雑化している中で団地住民のつながりや支え合い、地域の公民館や周辺の住民とのつながりが構築された安心、安全な生活を送れる関係づくりに取り組んだ。

(単位：件)

イベント名	2019年度												累計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ラジオ体操	4	7	11	7	7	7	9	5	4	6	3	3	73
お茶会	0	2	0	1	0	0	2	2	1	1	0	0	9
おはなしころりん	1	16	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
陶芸教室	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
カリタスサロン	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4
防災訓練	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
絆プロジェクト	0	0	5	2	2	1	0	0	0	0	0	0	10
食生活改善交流会	0	0	5	3	4	5	2	0	0	0	0	0	19
健康づくり体操	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	5
ふまねっと体操	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
包丁研ぎ	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
相模女子大交流会	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
手芸サロン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
マッサージ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ランチサロン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	14
件数	6	27	30	18	14	14	16	9	6	9	11	11	171

目標値

件数	月	目標件数
4	12	48

目標値：4件／月×12月＝48件

達成率

総計	目標件数	達成率
171	48	356.25%

達成率：171/48=356.2%

2-4. ケースカンファレンス

スタッフ間の支援対象災害公営住宅情報の共有と支援に必要な討議・検討のためのスタッフ全体ミーティングを行った。(他機関と共同で開催した連携会議は含まれていない)

全体MTG		
月	日付	実施回数
4月	5日、12日、19日、26日	4
5月	10日、17日、24日、31日	4
6月	7日、14日、28日	3
7月	5日、12日、19日、26日	4
8月	2日、9日、23日、30日	4
9月	6日、13日、20日、27日	4
10月	4日、11日、18日、25日	4
11月	1日、15日、22日、29日	4
12月	6日、20日、27日	3
1月	10日、17日、24日、31日	4
2月	7日、14日、21日、28日	4
3月	6日、13日、19日、27日	4
合計		46

目標値

件数	月	目標件数
4	12	48

目標値：4件/月×12月=48件

達成率

総計	目標件数	達成率
46	48	95.83%

達成率：46/48=95.8%

1-5. データベース化(支援活動履歴の記録)

訪問活動および他機関へのつなぎ等の支援活動を行い、その記録をデータベース化した。

支援活動実績集計表

(単位:件)

項目	2019年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
①訪問	40	41	50	41	32	35	35	29	35	31	31	38	438
②電話	0	2	4	11	14	13	9	7	3	10	9	8	90
③連携会議	0	3	8	3	2	1	1	2	2	3	1	1	27
件数	40	46	62	55	48	49	45	38	40	44	41	47	555

1-6. 他支援機関との連携会議

月日	会議名	概要
4/17	精神保健福祉担当者等連絡会	今年度の主な事業内容(計画)について関係機関との情報共有および意見交換を行った。
5/15	所通東アパートの防災訓練に関する打合せ	寿広を訪問して、所通東アパートの防災訓練の開催について相談を行った。
5/17	住宅公園課&アドバイザー定例会	今年度からの活動について、4月の状況報告を行った。新体制(組織)となり、今までの対応と異なる点もあるため次週に再度打合せを行うこととなった。
5/22	住宅公園課&アドバイザー定例会	先週の内容を踏まえ、各団地ごとの活動を振り返った上で、現状の課題等について協議した。
6/3	住宅公園課打合せ	当財団が受託している住宅公園課事業と地域福祉課事業の業務内容確認および今後の進め方などについて意見交換を行った。
6/5	アドバイザーとの打合せ	全体的な活動内容および重点団地の確認を行い、今後の方向性等について検討した。
6/12	健康推進課との打合せ	災害公営住宅での食生活改善交流会実施に向けて内容説明および対象団地の選定等について協議した。
6/13	住宅公園課との打合せ	野々田アパートの自治会運営について相談を行なった。
6/19	住宅公園課&アドバイザー定例会	団地ごとの活動を振り返った上で、現状の課題や今後の対応策等について協議した。
6/24	住宅公園課および総務課との打合せ	野々田アパートの独立行政区の方向性について、情報共有および相談を行なった。
6/27	RCFヒアリング対応	災害公営住宅のコミュニティ形成支援に関するヒアリング対応および他市町の状況等について情報共有を行った。
6/28	県) 土木センターとの打合せ	関谷団地の懸案事項について、アドバイザーを交えて情報共有および今後の連携等について協議した。

7/9	住宅公園課および総務課との打ち合せ	野々田アパートの独立行政区の方向性について、情報共有および相談を行った。
7/12	大船渡地区公民館との打ち合せ	野々田アパートの独立行政区の方向性について、情報共有および相談を行った。
7/17	住宅公園課&アドバイザー定例会	全体的な活動内容および重点団地の確認を行い、今後の方向性等について検討した。
8/9	香川大学（教授）との意見交換	災害公営住宅の現状について情報共有および今後の長期的なコミュニティ形成支援の必要性について意見交換を行った。
8/14	毎日新聞社（三陸支援支局長）	災害公営住宅の現状、各団地の課題共有および取り組みについて意見交換を行った。
9/9	住宅公園課&アドバイザー定例会	各団地の現在の取り組み、現状の課題や今後の対応策等について協議し、コミュニティサポーターの活動区分一覧を作成した。
10/16	住宅公園課&アドバイザー定例会	全体的な活動内容および重点団地の現状課題、今後の対応策等について協議した。
11/20	住宅公園課&アドバイザー定例会	全体的な活動内容および重点団地の現状課題、今後の対応策等について協議した。
11/22	大船渡市企画制作部市民協働準備室集落支援員との意見交換会	災害公営住宅における周辺地域との関わり具合、各地域の特性等について意見交換を行った。
12/16	住宅公園課&アドバイザー定例会	全体的な活動内容および重点団地の現状課題、今後の対応策等について協議した。
12/17	岩手県立大学総合政策学部（松平大知）との意見交換	現在の災害公営住宅の現状について、支援活動内容および今後支援をするにあたっての課題等について意見交換を実施した。
1/16	住宅公園課&アドバイザー定例会	全体的な活動内容および重点団地の現状課題、今後の対応策等について協議した。
1/20	RCFおよび岩手県復興局・大船渡市復興局との振り返り共有会	前回意見交換会の振り返りおよび各団地の状況確認を行った。また、地域との関係性・今後の支援等についても意見交換を実施した。
1/29	第3回大規模災害公営住宅自治会交流会のための支援者交流会	持続可能なコミュニティ（自治会）の条件および条件を備えるための支援体制と必要年数について、各地区の状況を共有しながらグループワークを実施した。
2/19	住宅公園課&アドバイザー定例会	全体的な活動内容および重点団地の現状課題、今後の対応策等について協議した。
3/18	住宅公園課&アドバイザー定例会	全体的な活動内容および重点団地の現状課題、今後の対応策等について協議した。

1-7.研修実績（所内研修含む）

スタッフの個別支援スキルの向上や地域づくりのノウハウの吸収、組織運営の知識を身につけるための研修会に参加した。

日付	研修名	概要	時間	参加者
4/25	クレイアート指導者養成講習会	粘土を使った作品作りを学んだ。災害公営住宅でのサロンには工夫が必要と感じた。	3:00	2
4/26	対人援助技術向上研修（第1回）	外部講師を招き、傾聴をベースとした相談者等との関係性構築の基礎を学んだ。	3:00	4
5/10	対人援助技術向上研修（第2回）	外部講師を招き、傾聴をベースとした相談者等との関係性構築の基礎を学んだ。	3:00	4
5/23	対人援助技術向上研修（第3回）	外部講師を招き、傾聴をベースとした相談者等との関係性構築の基礎を学んだ。	3:00	4
6/26	勤怠および会計処理に関する所内研修	勤怠および会計に関する内容や処理方法について説明を受けた。（共生地域創造財団）	3:00	2
7/23	会計処理に関する所内研修	会計に関する内容や処理方法について説明を受けた。（共生地域創造財団）	3:00	1
8/28	市民活動支援センター（一緒に学ぼう会）	市民活動支援センターの役割・活用法について講習を受けた。	3:00	2
9/27	対人援助技術向上研修（第4回）	外部講師を招き、傾聴をベースとした相談者等との関係性構築について実践を交え学んだ。	3:00	4
10/7	大船渡市地域助け合い創出研究会	外部講師を招き、地域で暮らす高齢者を近所で支え合う仕組みづくりについて学んだ。	3:00	2
10/11	対人援助技術向上研修（第5回）	外部講師を招き、傾聴をベースとした相談者等との関係性構築について実践を交え学んだ。	3:00	4
11/12	地域のニーズに真摯に向き合い事業を組み立てる「地域診断」の実践	地域と協働し、地域の主体性を引き出すための事業推進を考えるべく地域診断の概要説明と各自作成した「ロードマップ」の報告、グループワークを行った。	5:00	4
11/18	地域づくり事例に学ぶ人の巻き込み方・つながり方	外部講師を招き、活動団体の事例に基づいた域づくりの見落としがちな点や巻き込み方・つながり方の工夫を学んだ。	2:00	3
11/27	とうほくNPOフォーラムin陸前高田2019	外部講師を招き、「地縁組織とNPOのこれから」「持続可能な地域の仕組みとは」について多様な担い手の関係性・関わり方を学んだ。	5:00	2

12/13	伴走型支援士 2 級認定講座	外部講師を招き、伴走型支援の基本理念について学んだ。また事例検討に基づくグループワークを行った。	4:00	4
12/14	伴走型支援士 2 級認定講座	外部講師を招き、伴走型支援の基本理念について学んだ。また事例検討に基づくグループワークを行った。	8:00	4
12/15	伴走型支援士 2 級認定講座	外部講師を招き、伴走型支援の基本理念について学んだ。また事例検討に基づくグループワークを行った。	4:00	4
12/20	地域住民の支え合いと地域資源活用	住民同士のつながりづくりについて、支え合いの本質、大切さを学ぶとともに、普段の暮らしの中にあるつながりが地域の基盤となっていることを理解した。	3:00	2
2/20	船戸ADファシリテーション研修会 (第1回)	ファシリテーションの「場づくり」と「意見を引き出す」技術について実践を交えて実施した。	4:00	4
2/27	船戸ADファシリテーション研修会 (第2回)	ファシリテーションの「場づくり」と「意見を引き出す」技術について実践を交えて実施した。	4:00	4
3/3	船戸ADファシリテーション研修会 (第3回)	ファシリテーションの「場づくり」と「意見を引き出す」技術について実践を交えて実施した。	4:00	3

※研修実績のまとめ

講座数	受講時間	参加人数
20	73時間	63名

2. 総括および次年度への展望

災害公営住宅コミュニティサポート事業は大船渡市住宅公園課事業を大船渡市仮設住宅支援協議会から引き続いての事業である。

主な事業内容は災害公営住宅入居者および地域のキーパーソンと連携して地域における孤立や接触困難世帯等の把握、また今後起こりうる地域課題に対応する中で、恒久的な官民協働による連携支援体制の構築を図るとともに災害公営住宅および地域の自治会運営にかかる課題を共有し、課題解決への助言や自治会運営のサポートによる住民活動や地域交流の活性化を図ることを目的とした支援を行って来た。

地域における孤立や接触困難世帯、複合的な課題を抱える世帯については被災世帯等に対するパーソナルサポート事業（大船渡市地域福祉課事業）と連携する形でつなぎを行いその都度対応して貰いながら、その後の経過確認をパーソナルサポート事業と協働で行っている。

災害公営住宅の自治会運営においては自治会役員の入替わり等があり、大船渡市仮設支援協議会が構築してきた自治会と住民の関係性がリセットされた団地もあったことから今までのサポート内容を振り返り自治会役員会に出席したりラジオ体操やお茶会に参加して住民と情報交換を行いながら団地ごとの状況を把握し、相談ごとには地域公民館および関係機関、アドバイザーと連携して対応してきた。

大船渡市内には災害公営住宅は25か所あり、自治会運営形態はさまざまである。近隣住民が集合した自治会は比較的順調に運営されているが、広範囲に寄せ集まった住民で構成される自治会は住民の協力を得られにくいなどコミュニティが醸成されにくい。加えて9年の歳月は高齢化が進み担い手不足は否めない状況にある。その中で、新行政区立ち上げを決めた自治会があり、立ち上げから新行政区の総会開催までのサポートを行った。

また、高齢独居の入居率が高い災害公営住宅の住民から緊急時の対処法や安否確認の要望・相談があり、消防署など関係機関と協働し住民主体の防災訓練を行い、安否確認についての住民集会を開催し活発な意見交換が行われた。

来期もまた自治会や住民との交流を通して広く日常の中の声を拾いながら複合的な課題が想定される中で団地内および地域のコミュニティ醸成に向けて状況に応じた多機関連携の支援体制を図っていく。

以上